

見た瞬間、
誰のクルマかわからないくらいに
キレイになって
本当にびっくりしました。
細かいキズも消えているし、驚きですね。

ソウル五輪、バルセロナ五輪で活躍し、現在は池谷幸雄体操倶楽部の経営と子どもたちの体操の指導に携わる池谷幸雄さん。
気さくで大らかなムードの中に、数々の試練やプレッシャーを乗り越えてきた揺らぎない芯の強さを感じられます。クルマは、居心地の良い、リラックスできる空間であるという池谷さんにお話を伺いました。

元体操選手・五輪メダリスト

池谷 幸雄

YUKIO IKETANI

1970年生まれ。清風高校、日本体育大学卒業。1988年、ソウル五輪で団体・個人床で銅メダル獲得。1992年、バルセロナ五輪で、団体で銅メダル、個人床で銀メダルを獲得。22歳で引退、芸能活動を開始。2001年より池谷幸雄体操倶楽部を設立、経営者、指導者として活躍する。



家にいるより、

車内にいる時間の方が

長いからです

実は僕ね、ものすごいクルマに乗るんですよ。この黒のアルファードは、すぐに予約して、日本でたぶん一番に早く納車してもらって、ほとんど毎日乗り続けています。一年半で5万2千キロ走ってますね。大阪、滋賀、名古屋に僕の経営している体操倶楽部があるんですが、東京からクルマで行き来していただきますから、本当に家にいるより、車内にいる時間の方が長いからです。荷

物がたくさん積んであるので7人乗りなのに1、2人くらいしか乗れません(笑)。僕のクルマを見るとみんな「部屋みたいだね」って言いますからね。実際住んでいるみたいなのかもしれない。僕にとってクルマは居心地がいい、リラックスできる空間なんです。リ

新車みたい!

誰のクルマかわからないくらいキレイになっていました

とにかく、クルマは使い切って乗りつぶす消耗品という感覚。乗り方もけっこう荒いので、ぼろぼろになっちゃって。他の同じクルマと比べると「なんで僕のだけこんな汚いんかな?」って思えますよ。まだ発売になったばかりの新しいクルマなのに、どんだけ乗ってんねん!というくらい汚くなっていた(笑)。

ダブルダイヤキーパーを初めてやってもらったんですけど、見た瞬間、誰のクルマかわからないくらいにキレイになってって本当にびっくりしました。もう新車ですよ、新車!

コーティングで、

こんなにキレイになるとは
思っていませんでした

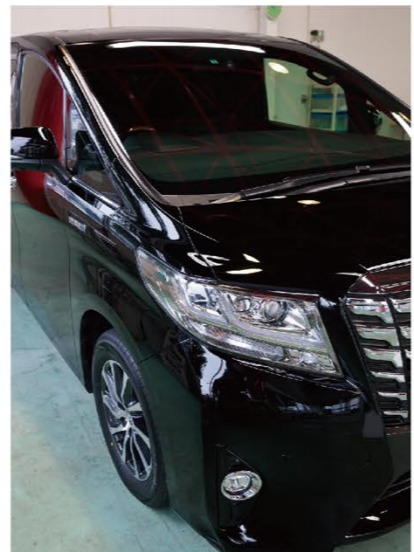
コーティングは、たまに時間があればガソリンスタンドでやるくらいでは

とんどしてません。洗車もやらないです。待っていていられるほどの時間がないんですよ。マネージャーが乗った時に、時間があつたらしておいてって頼むくらい。しかもどこ走ってき

ん!って思うくらい汚いときに限ります。雨降ったらキレイになるでしょ(笑)?とにかく汚いのも気にしないくらいずっと乗ってきていたので、ダブルダイヤキーパーやってもらって本当に生まれ変わりました。細かいキズも消えているし、驚きですね。

コーティングって、汚れが付きにくくなって、汚れから守ってくれるというイメージが強く、こんなにキレイにピカピカになるなんて思っていました。新車に戻ってる感じがします。

納品されたときよりキレイかも。コーティングは、汚れが落ちて、それなりに乗りこなしてきたくらいのレベルになるイメージはあったけれど、新車みたいになるとは想像してませんでしたね。



汚れはもちろんのこと、細かいキズも、ダブルダイヤキーパーなら目立たなくなって見違えるほどツツツに!

メダルを獲得といったら獲得。
日本の選手は強くなりました

リオ五輪が終了して感じたのは、すごく日本の選手は強くなったということです。今まではメダルを獲得という獲れずに帰ってくる選手の方が多かったけれど、今は獲るといって本当に獲ってくる選手の方が多い。そして41個ものメダルを獲得することができました。

なぜ強くなったかというのは、ナショナルスポーツセンターができたことが一番大きいと思います。僕らの時代はなくて、代表が決まっても全国のいろんな大学を回って合宿をしていました。それとナショナルスポーツセンターには宿舎もあるので、食事や栄養ドリンクを考えてカロリー計算もしっかりされたものが食べられます。でも僕たちの時は適当ですからね。ビジネス



「新車だよ、新車!」と、まるで鏡のようなツツツに驚く池谷さん。池谷さんのクルマには、ダブルダイヤキーパーを施工。ガラス被膜2層と、レジジン被膜1層の3層構造で、深いツツツと輝き、そして強力な撥水効果をもたらします。洗車だけで3年耐久、洗車に加えて定期的にメンテナンスを行えば5年コーティングが長持ちします。